

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2004-239465(P2004-239465A)

【公開日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2003-26787(P2003-26787)

【国際特許分類第7版】

F 2 4 C 7/02

F 2 4 C 1/00

H 0 5 B 6/64

【F I】

F 2 4 C 7/02 H

F 2 4 C 7/02 5 1 1 M

F 2 4 C 7/02 5 5 1 B

F 2 4 C 1/00 3 2 0 Z

H 0 5 B 6/64 D

H 0 5 B 6/64 J

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月22日(2005.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被加熱物を収納する加熱室と、高周波を供給する高周波発生装置と、前記加熱室に着脱可能に載置され、スチーム調理用の水を収納可能な容積を有する調理皿と、前記調理皿に着脱可能に設けられ、前記被加熱物を載置するとともに蒸気を前記被加熱物へ供給する蒸気口を設けた被加熱物載置台とを備え、前記高周波を前記調理皿に照射して水を加熱しスチーム調理を行うことを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

スチーム調理時には、前記調理皿と前記被加熱物を介して対向するように蓋が配置されることを特徴とする請求項1に記載の加熱調理器

【請求項3】

前記蒸気口の穴径を前記高周波発生装置によって供給される高周波波長 λ に対して $\lambda/4$ 以下としたことを特徴とする請求項1乃至2のいずれかに記載の加熱調理器。

【請求項4】

スチーム調理時には、前記加熱室の容積よりも小さい空間内に蒸気の密度を高めるような蒸気密度調整部材を設けることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の加熱調理器。

【請求項5】

前記蓋が前記調理皿と同形状であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の加熱調理器。

【請求項6】

前記加熱室の側面に所定間隔で柵を設け、前記蓋を異なる高さに載置可能なことを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の加熱調理器。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

また、スチーム調理時には、前記加熱室の容積よりも小さい空間内に蒸気の密度を高めるような蒸気密度調整部材を設けるものである。

また、前記蓋が前記調理皿と同形状であるものである。

また、前記加熱室の側面に所定間隔で棚を設け、前記蓋を異なる高さに載置可能なものである。